

令和5年9月15日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口常雄

きずな

す 住 み よ い げん 元 き 気 な みどり 緑 の 郷 さと おお くさ の 大 草 野

・令和5年度益世会の塩田川河川保全作業：8月27日（日）6:00～・

「大草野小学校の児童のために！」朝早くから、そして暑くても頑張っています！

寄稿 『皆様 ご協力ありがとうございました！』 大草野益世会 会長 田中 均

◇ 塩田川河川保全(伐採)受託事業について

この河川保全事業は、県が管理する河川堤防の伐採作業で、年2回の伐採のうち1回は事業者、1回を地元という形で実施されています。当会が受託している事業区間は、南上の式南橋から南下の千石堰までの塩田川右岸で総延長 2,500m に及びます。

まず、草刈作業を8月27日（日）6時15分（6:00 集合）から総勢94名で行い、途中休憩をとっていただきながらも、9時前に終了することができました。堤防の草刈



まだ朝日が昇りきる前、「ご安全に！」とミーティングです。

作業は日頃皆様が行われている作業よりも苦勞されたと思いますが、草刈り作業に手慣れている方々の参加が多かったのでしょうか、事故もなく予定時刻よりも早く終了できました。

次に、刈草の焼却作業は、刈草の枯れ具合や気象予報等を考慮し、8月30日（水）13時から役員を主に17名で、住居が隣接している蛸橋付近を全体で行い、その後は2班に分かれて進めましたが、降雨予報（16時頃から弱雨）より早く14時30分過ぎから雨が降り出し、まとまった雨でやみそうにないことから、15時にこの日の作業を中止し、残り約600mは後日実施することと致しました。

そして、9月3日 15時から7名で残りの部分（式南橋付近及び千石堰付近を合わせて600m）の焼却を行い、17時前に作業を完了しました。

今年度も、各区区長（当会理事）さんを中心に多くの会員の皆様の御協力のもと、事故もなく無事に事業を完了することができました。作業に参加いただいた方々、堤防の近くにお住いの方々など

水をかけて、燃え移らないように！



この数分後に、雨が降り出して！？

皆様方の御協力に心から感謝申し上げます。

◇当事業を受託するに至った経緯と意義

大草野益世会は、学校教育及び社会教育の振興に関する事業、地域社会の発展に寄与する事業等を目的とし、10ha 余の山林からの収益を運営資金としてきました。しかし近年は収益がなく、運営資金が乏しくなって基金(定期貯金)を取り崩しての運営を余儀なくされ、新たな収益の確保が課題となっていました。そこで、新たな収入源の確保に向け、河川保全事業(堤防伐採)について佐賀県鹿島土木事務所(当時)と協議の結果、平成23年度から受託することとなり、今日に至っています。今では、教育振興等益世会事業の原資はもとより、基金の積立てにも役立っています。

益世会事業を支える貴重な収入源として、また、共同作業によって生まれる会員相互の絆づくり、更には美しい大草野の自然を守り続けるためにも、この受託事業を継続して実施してまいりたいと思います。今後とも、会員の皆様のご理解・ご協力を宜しくお願い致します。



散髪ができて、さっぱりとしました！

新幹線 嬉野温泉駅 中野 裕介 駅長 講演会

日時：10月10日(火) 8時30分から(45分間)

場所：大草野小学校 体育館

※子ども達が元気になれるお話をさせていただきます。(一般の方も聴講できます！)

主催：大草野地域コミュニティ運営協議会

主管：青少年育成部会

講演会・講座開催のお知らせです！

下に記載の「健康講座」は、10月初めに周知用のチラシを回覧いたします。

聴講を希望する方は、そのチラシに必要事項を記入して申し込んでください。

健康福祉部会主管事業 「健康講座」 開催のお知らせ

日時：11月4日(土) 15時から

場所：大草野研修センター 2階大広間

講師：理学療法士 秀島 聖尚氏(鶴田整形外科リハビリテーション部主任)

内容：高齢者向けの健康講座です。聴講者数は、40人までといたします。

<秀島氏は、パラリンピック陸上競技日本代表チームの帯同トレーナーとしてリオオリンピックに派遣され、東京パラリンピックでもスタッフとして活躍されています。貴重なお話が聞けるかも?>

《編集後記》

九月の二週目に入って、やっと、やっと涼しい風を感じるようになってきました。昨年と同じ頃も、「仕方なく扇風機を回して寝ています。」と書いていたのが、今年是一段と暑さがパワーアップしたようで、朝まで扇風機を回したままの日も数日ありました。私にとっては過去にはなかったことです。

暑い夏だったのが原因か分かりませんが、水の事故で亡くなるニュースを多く見たような気がします。

私は、自宅の池などで大切な子どもさんを亡くされてしまった友人知人が続いたことがあったので、三人の娘には幼稚園の頃からスイミングスクールに通わせました。水泳だけは、家では教えられるので費用が掛かっても命には代えられません。

子ども達が、安全に水に親しめる機会や場所を提供できるような環境がもつとあった方がいいのではないのでしょうか?水の対処の仕方は、言葉だけで伝えることができませぬ。

少子化が進む中で、生きる力を持った逞しい子どもが増えていくような方策がもつとたくさん欲しい気がします。